

地域の道路整備の進捗は 今後とも計画どおり進める

奥西 伊佐男 議員(一新会)

① 草内区周辺の道路整備事業の現状を問う。市道東興戸線の現状と今後の整備計画は。建設部長 307号線

② 市道草内五ノ坪線から草内三山木線までの新市道の延長計画について市を考えは。建設部長 地元要望もあり、市の道路延長計画は決定している。事業着手のためには、整備中の美泥排水路を完成させる必要がある、周辺道路の状況も見ながら、今後検討していきたい。

③ 整備中の草内美泥排水路整備事業の進捗状況について問う。建設部長 本事業全体の26%が完成した。今後も地元の協力を得て早期完成に向けて、計画的に進めていきたい。

④ 昨年度に続き、新年度も市民税の減収が見込まれているが、本市の財政対策について問う。建設部長 法人市民税は1億3000万円余り減少する等、税の大幅な減収が見込まれる。今後必要となるものがあり、促進は一体のものであり、行政としての更なる基盤づくりとサポート体制の構築が不可欠と思うが、

市道草内五ノ坪線から草内三山木線までの新市道の延長計画について市を考えは。建設部長 昨年度に続き、新年度も市民税の減収が見込まれているが、本市の財政対策について問う。建設部長 法人市民税は1億3000万円余り減少する等、税の大幅な減収が見込まれる。今後必要となるものがあり、促進は一体のものであり、行政としての更なる基盤づくりとサポート体制の構築が不可欠と思うが、



整備が望まれる市道草内三山木線

市道草内五ノ坪線から草内三山木線までの新市道の延長計画について市を考えは。建設部長 昨年度に続き、新年度も市民税の減収が見込まれているが、本市の財政対策について問う。建設部長 法人市民税は1億3000万円余り減少する等、税の大幅な減収が見込まれる。今後必要となるものがあり、促進は一体のものであり、行政としての更なる基盤づくりとサポート体制の構築が不可欠と思うが、

教育の一環として中学校給食を 将来的には考えていくこと

水野 恭子 議員(共産党)

① 平成22年度から2校が民間委託を始めるが、経済効果もなく、安全性や偽装請負の問題もある。次期計画は中止すべき。教育部長 計画どおり3カ年で6校実施する。

② 食器の改善について全ての皿をアルミ食器から磁器食器に換えよ。また、給食室にオープンな設置を早期に。教育部長 すべての食器を早期に。教育部長 将来的には考

③ 中学校に給食を、学校給食法には「義務教育の設置者は学校給食が実施されるよう努めなければならない」としている教育の一環として給食を位置づけることが重要だ。教育長 将来的には考

④ 学校図書職員配置事業の評価と課題は。教育部長 小学校2校に1名職員を配置した。

⑤ 図書館配置事業を教



学校給食の調理準備風景(湖南市)

本日の整理、修復、掲示物の作成、貸出作業、図書室の環境整備を中心に行っており、子どもの読書意欲が高まりつつあるという効果が表れている。司書教諭との打ち合わせ時間や図書ボランティアとの調整が今後の課題と考える。

⑥ 実効性のある男女共同参画条例制定のためDVを定義に入れ、理念においてもあいまいな文章にせず、真の男女平等社会が実現できるよう明記すべき。市民部長 DVは、解釈が明らかたため、定義に入れない。条例制定についてパブリックコメント、シンポジウムも行った。今後、懇話会で慎重に審議する。

大日本印刷(株) 新工場建設計画は

平成22年度 土木工事に着手

喜多 進 議員(緑政会)

① 都市計画マスタープランについて問う。建設部長 都市計画マスタープランは、都市計画審議会で見直しを伺っている。市の北部・中部・南部の地域構想を策定していく予定である。

② 防賀川の切り下げに伴い、興戸駅西地区の計画の進捗と内容は。建設部長 駅前機能を有し、道路整備や緑の広場、緑道・遊歩道を整備

③ 手原川のしゅんせつは。建設部長 京都府民公募型安心・安全事業で審査委員会において採択され、6月の出水期までには完了する予定。

④ 環境衛生センター甘南備園新焼却炉建設は。建設部長 京都府民公募型安心・安全事業で審査委員会において採択され、6月の出水期までには完了する予定。

⑤ 緊急経済対策として、自宅、店舗のバリアフリー化工事の助成は。経済環境部長 市内工業者が行う既存の住宅店舗等のバリアフリー化を目的とする改修工事に

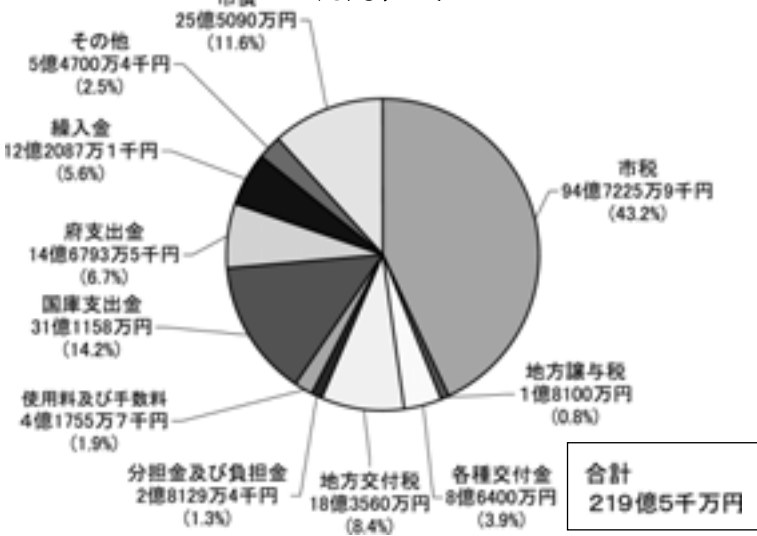


大日本印刷株式会社の新工場建設予定地(大住)

経済環境部長 多額な費用が必要。循環形社会形成推進事業の交付金の対象事業として行うため、費用の2分の1を助成する。22年度から23年度の2年間を計画している。大日本印刷新工場建設計画の動向について問う。市長 新田辺工場計画は、昨年経済環境の変化により延期されていたが、私共を訪問して早期着手を要請してきた。22年度から土木工事に着手すると、今年2月に社長から報告を受けた。消防団員の処遇は。消防長 費用弁償の改善に向けて取り組む。改善に向けた取り組みの内容は、時間、困難度等も踏まえた中で考える。22年度に改善に向けた結論を出せるように努力する。

平成22年度一般会計予算

歳入



歳出

